

網走市新庁舎建設基本設計（案）に対する意見等一覧表

No.	意見等の内容	市の考え方
1	<p>新庁舎の意見ですが、商店街に出向いてもちょっとした食料品を買う店が無い。銀行や郵便局まで来たけれど西のスーパー、南2条のコンビニまでは歩いて行けない。お店に来るお客様や高齢者、市営住宅などにお住まいの方からの声をよく聞きます。周りを見渡しても、お弁当やドリンクなど買えるお店がありません。</p> <p>庁舎内にコンビニがあれば助かります。北海道企業のセイコーマートでも良いかと思えます。よろしくお願い致します。</p>	<p>中心市街地に新庁舎が建設されることにより、新庁舎周辺の未利用地や空き店舗を活用した飲食店、コンビニエンスストアなどの商業施設の新規出店を期待しております。</p> <p>そのため、新庁舎内にコンビニエンスストア、食堂等の商業スペースは設置しない考え方にご理解いただきたいと思います。</p>
2	<p>1 近年、全国的に人口減少に歯止めがかからない状態が続いている状況で、網走市も減少が中々止まらない状況ですが、庁舎建設の総人口の基準は3年先～5年先か定かではない。庁舎建設にあたり特に基準人口は大事かと思えますが、人口の減少範囲が明確ではないように思われますので、3万3,000人から3万人とか、わかりやすい基準で説明していただければ、私は納得します。</p> <p>2 計画では、保健センター及び水道部局等を新庁舎へ組み込むとのことですが、竣工が3年先ですので人口も数千人現象と思えますが、計画規模に変更の余地はありませんか。</p> <p>3 駐車場ですが、公用車の駐車スペースがあまりにも少ないのが気になります。説明会では現庁舎に大部分の留め置きと聞きましたがもう少し工夫があるような気がします。例えば「おもいやり駐車場」部分上部の立体駐車場等（公用車専用）。費用は新庁舎～現庁舎の往復時間の削減で捻出できるのではないかと。また、公用車の管理が軽減できる等メリットはあると思えます。</p> <p>さらに、行事において屋根があれば、何かと便利だと思います。</p> <p>4 内部については、使用する人が考えるのがベター。</p> <p>5 現在ある法務局出先、または売店（収入印紙の販売）については、必要だと思います。</p> <p>6 現庁舎、水道部局の建物（＝西庁舎）は、早急に今後の方向性を決めるべき（売却等）</p> <p>7 各種手数料の値上げ等を極力抑えるように、建設費は抑制するべき。</p> <p>8 いずれにしても、建設するからには良いもの（外観ではない）を。</p>	<p>庁舎建設における庁舎規模については、現在の職員数を基準とし、現庁舎よりもコンパクトな庁舎を目指しているところであります。</p> <p>新庁舎建設にあたり「基準人口」というのは定めておりませんが、将来人口の減少やICT化の進展による来庁者の減少を見据えた考え方においては、執務室を間仕切り壁のない大部屋にする、部長室を廃止して個室を減らす、二重床を採用するなどの構造により、将来、不要なスペースが生じた場合、執務空間の変更が柔軟に対応可能な計画としてまいります。</p> <p>現本庁舎と西庁舎に加えて、保健センター（健康推進課）の職員を新庁舎に組み込むこととしております。</p> <p>現在、令和2年4月1日現在の職員数347人を基準として庁舎規模を計画しており、竣工時期を見据えた計画変更は考えておりません。</p> <p>駐車場の設計については、公用車の駐車台数も確保するため、立体駐車場の設置なども検討しましたが、設備の建設費や維持管理費などが多額になることから平場の駐車場としたところです。</p> <p>今後は、公用車の一元管理化・共有化の導入などにより、車両の削減、効率化を図るなどの検討を進めてまいります。</p> <p>市民利用部分は、市民の皆さまのご意見を取り入れながら、誰もが使いやすく、親しみを感じられるように検討を進めてまいります。</p> <p>また、執務室部分は、効率的な事務が可能となるように、職員の意見も聞きながらさらに検討を進めてまいります。</p> <p>原案では、法務局証明サービスセンターは1階に配置し、その付近の窓口で収入印紙を取り扱うことで今後検討を進めてまいります。</p> <p>現段階においては、本庁舎の建物は解体し、駐車場部分は公用車駐車場として利用することを考えております。</p> <p>また、西庁舎は当面の間、文書保管庫として利用することを考えております。</p> <p>なお、本庁舎解体後の具体的な活用については、市民の皆さまのご意見も伺いながら有効な利活用を図りたいと考えており、ただちに売却するという考えはございません。</p> <p>建設費の縮減を念頭に、今後の実施設計に取り組んでまいります。</p> <p>新庁舎建設基本構想の基本理念である「市民に自然にやさしいスマート庁舎」の実現を目指してまいります。</p>

No.	意見等の内容	市の考え方
3	<p>1 庁舎敷地の環境整備について</p> <p>①駐車場利用敷地は市有地すべきである。 (商店街振興組合から委譲)</p> <p>②南5条通の埋設物(上下水道、電話線など)の撤去をすべきである。</p> <p>③駐車場におけるイベント開催時の市民向け駐車場を確保すること。</p> <p>2 市民にやさしい庁舎設備の拡充について</p> <p>視覚、聴覚障がい者や車椅子での来庁者への設備の充実について、エレベーターの音声による案内や段差のない床面、誘導板の設置、また手話のできる職員の案内係への配置</p> <p>3 市民参加のしやすい庁舎の整備</p> <p>市議会傍聴スペース(本会議場、委員会室)の工夫と、椅子などの検討</p> <p>4 人口減(2万5,000人)と来庁者減員による行政改革計画の策定と新規導入機器材の計画を早期に検討し立案を図ること。</p> <p>5 職員の福利スペースの確保を図ること。</p> <p>①職員厚生室の配置はあるが、男女別に昼食休憩スペースの確保が必要。</p> <p>②労働組合への貸与スペースの確保を図ること。</p>	<p>① 網走中央商店街振興組合所有地は、金市館解体時の経過により、現在、取得する考えはございません。</p> <p>② 移設可能な支障物は撤去、移設等を進めてまいります。</p> <p>③ 閉庁時に駐車場でイベントを開催する場合は、イベント主催者とも駐車場の確保について協議してまいります。</p> <p>関係機関と協議しながら、バリアフリー、ユニバーサルデザインの導入に取り組みます。</p> <p>議場及び関連諸室の在り方及び什器・備品の導入については、議会と協議しながら進めてまいります。</p> <p>本市では、本年度「第5次網走市行政改革推進計画」を策定することとしており、その中でも人口減少への対応やICTを活用した各種施策などについての方向性を示していきたいと考えております。</p> <p>また、ICTの各種施策に伴う新規導入機器材の導入についても計画してまいります。</p> <p>① 男女別の昼食休憩スペースは計画しておりませんが、各階執務室の後ろ側に配置する共創スペースなどを利用していきたいと考えております。今後、運用面の検討を進める中で、さらに工夫していきたいと考えております。</p> <p>② 今後、労働組合と協議してまいります。</p>
4	<p>内装計画において、1階市民ホール、5階議場壁には道産木材使用となっているが、網走市には約10千haの民有林があり、そのうち約500haが市有林。現在、市有林では主伐(収穫)を実施しているところなので、もう一步踏み込み「網走産木材(網走市有林)の使用」を検討いただきたい。</p> <p>また、木質系ルーバーについては、すでに東藻琴の特養(特別養護老人ホーム)において大空町女満別住吉で伐採されたカラマツを使用する等の事例もあるので、網走産木材の使用を検討していただきたい。</p>	<p>市民利用の多い場所の内装仕上げの一部には、木材を利用することで、親しみを感じられる空間づくりを進めてまいります。</p> <p>基本設計(案)の段階では、道内産木材の使用としておりますが、今後、関係機関と協議を進め、網走産木材を使用することで検討を進めてまいります。</p>
5	<p>基本設計(案)は、多くの専門スタッフが練りに練った案であり、賛同する。</p> <p>2022年春の発注、入札の運びと思われるが、その方法について提言したい。</p> <p>1 談合がまかり通らないよう、経緯を一般公開し、網走市に事業所を置く多くの業者が公平に入札参加できるようにして欲しい。</p> <p>2 最低入札価格をそれぞれ設定し、安価競争が起きぬよう配慮して欲しい。</p> <p>3 警備、設備、清掃、環境測定などは、資格のある業者を選定し、2年ごとに再入札が望ましいと考える。単年度契約は初期投資の回収のため作業の手抜き、談合などが発生しやすい。</p> <p>4 建物の維持管理費は膨らむと思うが、シルバー人材センターなどの活用で市民に還元できる方法をとって欲しい。</p>	<p>市内経済への波及効果等を考慮し、市内建設業者が多く参画できる工事発注に努めてまいります。</p> <p>地方自治法や関連法規に基づき、最低入札価格を設定し、適切に発注してまいります。</p> <p>必要に応じて適切に対応してまいります。</p> <p>現在もシルバー人材センターには、庁舎内の清掃などの業務を担っていただいております。</p> <p>新庁舎におきましても、引き続き業務継続いただけるように検討してまいります。</p>

No.	意見等の内容	市の考え方
5	<p>新庁舎に面するアパート4は、原則駐車禁止で一方通行。近くの駐車場は高い料金なため、10年来買い物には利用していない。不法駐車、違法駐車を防ぐ手段を今から対策してください。</p>	<p>新庁舎駐車場は、ゲートを設置し駐車券発行管理による運用管理を計画しております。</p> <p>開庁時は庁舎利用者のための駐車場として計画してまいります、閉庁時においては、中心市街地の活性化の観点から、日中の時間帯は無料で駐車できる駐車場としての運用を、網走中央商店街振興組合と協議してまいります。</p>
6	<p>食堂を復活させて、充実させてほしい。</p>	<p>新庁舎は中心市街地に位置することから、昼間人口の増加により商業店舗や飲食店の進出など促し、中心市街地の活性化につながることを期待しております。</p> <p>そのため、新庁舎内にコンビニエンスストア・食堂等は設置せず、基本設計をまとめていきたいと考えています。</p>
7	<p>意見1 ZEB Ready庁舎について</p> <p>基本構想では再生可能エネルギーの利活用や省エネルギー対策について検討するとありました。今回の基本設計では初めてZEB Ready庁舎を目指す表記されましたが、コスト比較や費用対効果の議論をはじめ経緯が明らかでなく技術的な検証も未調査なままでは導入の是非を判断できません。</p> <p>よって、実施設計に進む前に徹底的な比較検証とエビデンスに基づいた説明・情報開示といただき、市民の声を集めた上で「網走市の身の丈に合った、このマチに本当に必要な庁舎を建設する」という現実的な判断をされることを要望します。</p>	<p>国が2018年7月に策定した「エネルギー基本計画」では、2030年までに新築建築物の平均でZEBを実現することを目標に掲げております。また、2050年のカーボンニュートラル、脱炭素社会の実現についても目標としております。</p> <p>このような環境に配慮した新築建築物におけるZEBを目指す動きが強まっている状況にあり、新庁舎においてもZEB Readyを目指すものであります。</p> <p>新庁舎のZEB Ready認証の取得については、平成28年の標準庁舎と比較して、50%以上の省エネルギー化が必要となります。</p> <p>これまで、電気、バルクガスの主要エネルギーとバイオマス、地中熱、太陽光などの自然エネルギーの組み合わせにおいて検討を進めてまいりました。各所の詳細仕様が定まっていない基本設計の段階では、簡易的な計算に基づき、唯一基準を満たすことができた電気をメインとし、地中熱エネルギーを一部採用する基本設計としたところであります。</p> <p>現在、建設予定地において地中熱応答試験を実施しており、今後、実施設計において、地中熱応答試験の結果を用いて、外壁や窓の断熱性能、空調換気設備の能力等の仕様を定め、詳細な計算に基づき、地中熱エネルギーの採用可否及び導入規模を検討してまいります。他のエネルギーの活用におけるイニシャルコストおよびランニングコストのコスト比較やエネルギーの分散化による災害時におけるリスク回避の考え方など総合的に判断し、ZEB Ready認証の取得の適否について判断してまいります。</p>
	<p>意見2 環境配慮とランニングコストの削減、およびBCPの強化に繋がる空調熱源のベストミックスについて</p> <p>これらについても基本構想から基本設計に至る間のコスト比較や費用対効果の検証といった経緯が明らかではないので、下記2項の意見をご確認頂きエビデンスに基づいた説明・情報開示と合わせ実施設計に反映されることを要望します。</p> <p>1) 高効率熱源（EHP/GHP）の組み合わせを基本に、災害時稼働居室と稼働率が低い居室にはGHP、それ以外はEHPに棲み分けすることでピーク電力を抑制し、空調エネルギー全体の削減とランニングコストの低減、非常用発電設備の負荷軽減を図る</p> <p>2) 非常用発電機の費用対効果を再検証し、複数熱源（含む蓄電池）の採用による分散化・多重化・冗長化によるBCP強化を図る</p>	<p>現在の検討段階では、電気を利用する空調システム（EHP）の代わりに、LPガスを利用した空調システム（GHP）を導入した場合、ZEB Ready認証の取得は難しいとされています。</p> <p>今後、実施設計においてZEB Ready認証の取得を基本に進めてまいります。総合的な検討の中で、地中熱エネルギーの導入及び他の熱源の活用を軸とした省エネルギー化の検討を行ってまいります。</p> <p>その中では、いただいたご意見のとおり、EHPとGHPの併用による省エネルギー化及び熱源の分散化等による業務継続計画（BCP）の強化についても検討してまいります。</p>

No.	意見等の内容	市の考え方
8	<p>先日のまちづくりふれあい懇談会にて説明を受け、新庁舎建設基本設計（案）を拝見いたしました。</p> <p>私は、環境に対する想いとSDGs（ミレニアム開発目標）へ概念の興味から意見を述べたいと思います。</p> <p>（５）外装・内装・断面計画 （６）環境配慮計画 （７）防災計画</p> <p>以上についての意見です。</p> <p>建物外観のデザインに相まって外部に垂直・水平ルーバーを設けて、建物内への日影範囲を拡大し、採光とのバランスをとり、冷暖房効果を高める設計の提案を致します。</p> <p>ルーバーが庇の代わりに窓面への上部からの汚れを防ぐことも可能であり窓面日影の範囲を算出し効率化を図ることができます。</p>	<p>外部の垂直・水平ルーバーは、日射の遮蔽により、冷房負荷を削減する効果があり、省エネルギーの観点で有効な手段のひとつです。しかし、建物外部に設置するため、メンテナンスに費用や手間が掛かることや、積雪寒冷地においては、ルーバーへの積雪及び落雪などの影響を考慮する必要があると考えております。</p> <p>５階建ての新庁舎において、省エネルギー性能や冬季の維持管理など含めて採用が可能となるかどうか、ご意見を参考に検討してまいります。</p>
	<p>新庁舎にヘリポートは設けないのでしょうか。</p> <p>航空法等の制約はありますが、ヘリの離発着が無理でも災害時の物資等受け入れ場所などが屋上にあると良いかと思えます。</p> <p>また、ドローンによる運用場所の設置検討はいかがでしょうか。</p>	<p>網走市地域防災計画において、ヘリコプターの発着場所は網走市営陸上競技場や網走消防署南出張所、各小中学校グラウンドを指定しています。また、新庁舎からヘリコプターの発着場所に一番近い場所は、網走小学校グラウンドとなっています。</p> <p>ヘリポートを建物に設置する場合には、ヘリコプターが着陸する際の衝撃に耐える強度や附帯設備が必要になることから、新庁舎への設置は難しいと判断いたしました。</p> <p>また、新庁舎敷地に面する国道244号は、災害時における緊急輸送を円滑かつ確実にを行う道路として、北海道緊急輸送道路に指定されていることから、物資の調達については、優先的に配布されるものと考えております。</p> <p>また、ドローンの運用場所の設置につきましては、ドローンによる物資輸送など将来的に現実化する時代になると考えており、運用場所を考えると駐車場や屋上スペースなどの活用が考えられますが、現段階でドローン専用の場所として確保することは考えておりません。</p>